

令和3年度第2回志木市社会教育委員会議録

日時 令和3年11月10日(水)

午後2時00分

～3時20分

場所 市民会館205号室

出席者 委員：竹前榮二、宮原正幸、一ノ倉達也、市之瀬初男、
稲垣真記、山下美香、野島悦子、鈴木民雄、
前田喜春、中村和子、石井都(順不同、敬称略)
市：土崎生涯学習課長、浅見主幹、武井主任、石川主任
欠席者 委員：有馬隆江、星野祐子、松田良蔵、木下武久

1 開 会 土崎生涯学習課長

2 あいさつ 竹前榮二議長

3 協議事項 進行：竹前榮二議長
志木市生涯学習推進指針の検証について 説明：浅見主幹

事務局より説明

令和3年3月に社会教育推進指針の改訂を行ったが、今回改訂後初めての検証を行った。令和2年度に実施した生涯学習に関連する事業(委託及び補助事業を含む)で、「志木市生涯学習推進指針」に基づく取組がなされた事業等について、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、多くの事業で中止やオンライン等での新しい生活様式においての実施となった。事業の数としては214事業のうち、全体の6割である124事業実施し、4割は中止という結果であった。

(議長) 事務局からの説明に対し、ご意見はないか。

(議長) 令和2年度は、コロナ禍で子ども達は非常に我慢をしているということから、人数制限等の感染対策を行って事業を実施することとした。今年度も11月に事業を行う予定である。

(議長) コロナ禍で活動は減ったのか。

(委員) オンラインに切り替えて事業を行ったが、予定の全てを行うことは出来なかった。

(委員) 令和2年度は、練習も行うことが出来なかった。令和3年11月現

在で感染状況が落ち着いてきていることから、活動の打診を各会会長に行っているが、慎重な意見がある。しかし子どもも練習を楽しみにしているし、伝統を続けていく意味でも活動を続けていきたいと思っている。生涯学習推進指針の事業について6割活動できたのはすごいと感じた。

(委員) 活動については、集まりは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から出来なかった。しかし、裏方として打合せなどの作業を行っていたため、活動が全くなかったわけではない。

(議長) 委員の皆様、それぞれが様々にご苦労されている。

(委員) 令和2年度の新型コロナウイルス感染拡大の状況下において6割の事業を行えたことはすごいと思う。新しい生活様式に対応した事業も行ったとのことだが、不慣れであるので知識のある方に教えていただきながら活動していきたい。

(委員) 活動においては、コロナ禍のため市との共催事業が中止となったが、その分オンラインでの研修などに力を入れたことで、スキルアップにつながったと考えている。支援センターにも携わっているのでそれをご説明すると、工夫を凝らすことで事業をほとんど減らすことなく行うことが出来た。

(委員) 皆さんの大変なご苦労がわかった。学校現場の立場から令和2年度状況を申し上げると、デルタ株が2学期はじめくらいに流行したため、各校感染不安で登校できない児童がいた。6月からオンライン授業を取り入れたことで自宅から参加するようにした。今現在、各校行事を再開する動きをとっているが、運動会の開会式は、教室でオンラインで実施する学校がほとんどであった。今後も工夫して行事を執り行っていきたい。

(委員) クラスター等の発生もなく、124事業実施できたということは少人数など感染対策がしっかりと行われていたことだと思う。

(委員) 活動についてお話をさせていただくと、令和2年度は全体会のみ実施し、活動をすることは出来なかった。今年度は感染状況が落ち着いてきたことから、さくらフェスタぐらいから活動していきたいと考えている。

(議長) もしコロナ感染者が発生したらという不安で活動できなかった。今年度志木の杜町内会が新規で発足した。実際の集まりが出来ない分、オンラインで打合せ等行ったが、そのための知識も必要かと思う。

(委員) 子ども達がまだワクチン接種を行っていないことから活動出来なかった。例年開催していた志木子ども郷土かるた大会においても、大人数になるため令和2年度は中止とし、令和3年度についても中止の予定である。団体として、規模を縮小しての事業は難しいので令和2年

度に活動は出来なかった。

(委員) 全体として密集しての事業が多いため、令和2年度はあまり活動出来なかった。会員への訪問事業については、中止することなく感染対策を行って年3回実施した。単会においては、個々の判断においてラジオ体操などの事業を行っていた。新しい生活様式をふまえ、従来の事業計画の見直しを行うべきという動きがある。

(議長) 214の事業について何か事務局へ質問があるか。

(委員) ない。

(議長) 了承したとのことによいか

(委員) よい。

4 研修会 武井主任

人権研修会 映画視聴 「あなたに伝えたいこと」

事務局より説明

現在の新しい生活様式において、インターネットは切っても切り離せないものであることから、今回研修会として「インターネット時代における同和問題」がテーマの作品をご視聴いただく。資料として、『部落差別解消法を知っていますか?』のリーフレット、『本人通知制度のご案内』のチラシ、『同和問題の解決をめざして』のリーフレットをお配りしたので参考としていただきたい。

上映(約35分間)

5 その他

(1) 埋蔵文化財保管センター視察研修について 説明：浅見主幹

事務局より説明

埋蔵文化財保管センターの視察を12月15日(水)に予定している。埋蔵文化財保管センターは、平成22年に埋蔵文化財の収蔵と発掘調査の拠点施設として開館し、今回は収蔵品について職員がご案内する。また現在、発掘現場が2か所あるため、センターに近い発掘現場見学も予定している。当日は14時に直接、埋蔵文化財保管センターに集合していただきたい。密集しないよう、参加者が多い場合は2グループに分けての視察を行う予定である。

(委員) 車での参加は可能か。

(事務局) 埋蔵文化財保管センターの駐車場が利用出来るが台数に限りがある。

(2) その他 説明：浅見主幹

(事務局) 例年1月に南部教育事務所の研修があるが、今年度の実施についてまだ連絡が来ていない。

(事務局) 次回の会議は、令和4年2月17日(木)午後、場所は未定。

6 閉 会 竹前榮二議長